

「ぼくたちの勝ち！」

大きい子たちが綱引きをしている様子を見ていた3歳児の子どもたち。よいしょ!



ぼくたちもしたい! うん!

さっそく自分たちも綱引きに挑戦しましたが、引っぱり合いの後、どちらのチームも勝ったことを主張し始めました。
ピーッ! これで終わりです。
違う! わたしたちの勝ちだよ!

ぼくたちの勝ち!

綱引きの様子をじっと見ていた4歳児のGくんが、急いでやってきました。

あのね。この赤い印の所が、自分たちのチームに来たら勝ちなか。
だからそこのチームの勝ち。
自分たちが経馬食してわかったことを

小さい子たちに教えてあげようとする、やさしい気持ちで伝わってきました。

やった! ぼくたちの勝ちだ!

赤い印が、どの場所にあるか、みんなで確認しました。
うん、おもしろかったね。またしよう!

大きい子からルールを覚えてもらったうれしさも重なり、子どもたちは、勝ったり負けたったりしながら何回も綱引きを楽しんでいました。

「でも、泣かなかったよ」

4歳児のHちゃんは、かけっこの途中で転んでしまいました。



けれどHちゃんはスクッと立ち上がると、ゴールに向かって走り出しました。



周りの友達も応援しています。

かけっこが終わってから、Hちゃんがホッソッとつぶやきました。

...わたし転んじやったの。でも、泣かなかったよ。

うん、頑張ったの見たよ。偉かったね。
Hちゃん、泣かんだね。
うん、頑張ったね!

こぼれそうになる涙を、ぐっとこらえて、いっしょうけんめい走ったHちゃんの姿に思わず胸が熱くなりました。

友だちのことを思いやるやさしさが、みんなの笑顔から伝わってきました。